YUSHIKYA だより

VOL. 2

R8.4.23

～学びの継続・だれでも意見・強みを生かして、輝こう！～

テーマ研修2回目を終えて

第2回テーマ研修、ありがとうございました。

今回は、研修のテーマである**「学習者主体の授業による自ら学ぶ児童の育成」**の中にある「学習者主体の児童の姿」って？ということを共通イメージできるように話し合いをしました。

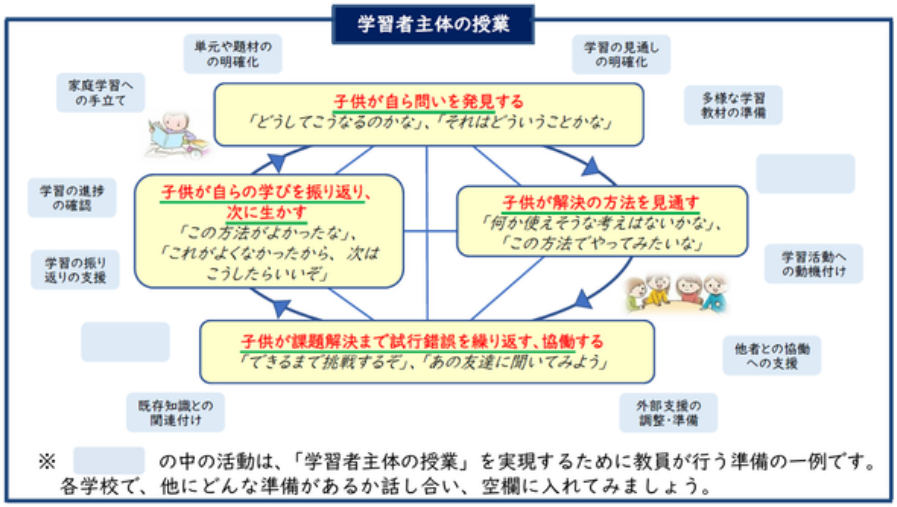
話し合いを通し、子どもたちに、こんな姿に成長してほしいという先生方の熱心な話し合いの姿が素晴らしいなと感じました。

今年度は、「自ら問い（課題）を見つけ、既習事項を生かしながら、粘り強く解決する姿」を目指して授業を取り組もう！ということに決まりました。このイメージを、毎日の授業の中でイメージし続け、子どもたちと過ごしていきたいと感じました。

そのあと、目指す姿に向かうために、どんな手立てが必要かを、実際に、１年生と6年生の算数の授業を作りながら考えました。先輩の先生から、「授業の技を一生懸命に聞く姿」。自分から「質問する姿」、「考えを出す姿」。どれも、「学習者主体の姿」だと感じました。

先生方の姿を通して、子どもたちに伝え、教えていきたいと感じた研修の時間でした。

学習者主体の授業【学びの羅針盤より】



※ □ の中の活動は、「学習者主体の授業」を実現するために教員が行う準備の一例です。
各学校で、他にどんな準備があるか話し合い、空欄に入れてみましょう。

目指す姿に向けて

①子どもが自ら問いを発見するために

○　日常場面から、課題を作成する。

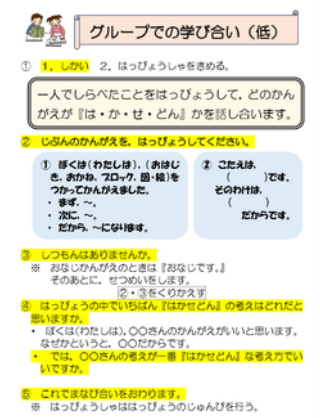
○　前時や複数の問題を比べた「ちがい」から「問い（課題）」をもたせる。

②子供が解決の方法を見通すために

○　学び方のフローチャートの活用。

○　学習の流れのパターン化。

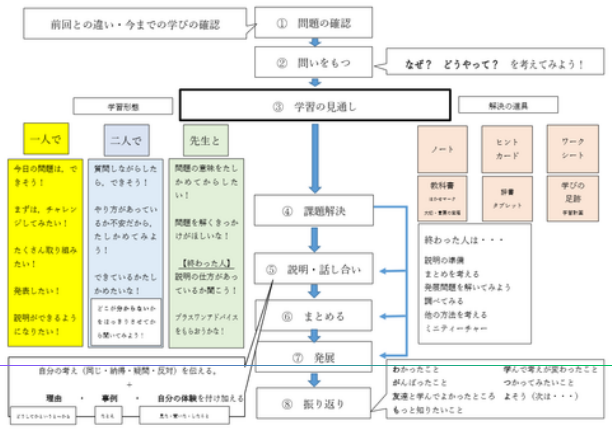
③子供が課題解決までの試行錯誤を繰り返す、協働するために



○　学び合いの仕方の型の活用。

④子供が自らの学びを振り返り、次に生かすために

○　振り返りの充実。
- 「学びの方法」と「学習内容」の２つを振り返る。



感想

次回に向けて　やってみよう

○　個人のゴールに向けて、調べてみましょう。